

ひまわり

167号

令和5年1月10日

新年号

- 2 年頭のごあいさつ
- 4 特集: 4月開設 木田の里ご紹介
- 5 調理マイスター制度導入について
- 6 たっぷく児童クラブご紹介
- 7 連載vol.58 ● [記録に残したい記憶] ~貴重な体験を語り継ぐ~
- 8 各施設トピックス
- 12 福寿園ニュース
- 14 家族会だより
- 16 連載 ● 外国人介護士紹介インタビュー
連載 ● 施設長・管理者のリレーコラム
連載 ● 4コマ漫画



迎春

新春を寿ぎ お慶び申し上げます

新年を迎え皆様方にお祝いの言葉を申し上げます。旧年中は弊法人に対しまして、温かいご協力ご支援を賜り誠にありがとうございます。また法人内の各施設が何かと多難な折、無事に新年を迎えることができましたことを感謝申し上げます。

昨年、夏には田原福寿園本館の前の広い芝生広場の一画に、福寿園の園花、『ひまわり』が数多く咲きました。またコロナ禍三年目、日常の利用者サービス、行事、催し、職員研修等をコロナ前に戻すことを目標といたしました。

本年は法人創立四十三周年を迎えます。令和二年は法人創立四十周年、令和三年には田原市から、田原福祉専門学校の経営移管を受けました。そして昨年は、二十年振りに経営ビジョンの改定を行い、地域共生社会の実現を目指して、ひとつ上の目標として、信頼性・公益性・持続性・創造性・人間性の五つを掲げました。また一方で、中長期経営計画の見直しを行いました。本計画は2016年から2025年までの期間が対象でしたが、今回の見直しでは、2040年問題も視野に入れ、施設整備・建替・改修の年次計画は、

2031年までの期間といたしました。

本年はこの改定後の経営ビジョンのもとに、見直し後の中長期経営計画を確実に一歩進め、法人創立四十周年を一つの節目として、次の時代を築いていく重要な年と位置付けております。

東海市太田川駅の東側約八百メートル、農地土地区画整備事業の一画で、整備を進めている複合福祉施設「木田の里」の三棟の建物の外装が完成間近です。幹線道路側の本館（三階建）は、障害者就労継続支援として、温浴施設とレストラン、三階は高齢者のデイサービスセンターとなります。その奥の、こども館（二階建）は、保育園等のこども関係の施設となり、東館（四階建）は、サービス付き高齢者住宅となります。今春オープン予定で、地域の皆様に気軽にご利用頂ける施設を目指します。

本年も変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。

令和五年 元旦



理事長 山田 浩三

謹賀新年



常務理事・総務部長

古田 周作

旧年中は、格別のご厚情を賜りまして誠にありがとうございました。年末のサッカーワールドカップにおいて、日本がドイツ、スペインを破るなんて誰が予測したでしょうか！戦争、コロナ、物価高など厳しいニュースが多くを占めるなか、我々に熱い心と希望をもたらしてくれたサッカー日本代表に感謝です。ブラボー！！

昨年の法人は、コロナ禍3年目にあつて、各種研修会、文化祭等イベント、職員旅行の実施など、やり方を工夫しながら大きく前進することができました。また、経営ビジョンの改定、食のマイスター制度導入、田原福祉グローバル専門学校における日本語学科の設立、たつぷく児童クラブの開設など新たな取り組みにも着手できました。そして本年は、いよいよ東海市太田川に整備中の複合福祉施設「木田の里」の開設を迎えます。創立40周年を終え、ネクストステージへの新たな挑戦です。特に法人初の事業となる保育園、就労B型の運営を軌道に乗せることが第一の目標となります。皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

2023年はピョンピョン跳ねるうさぎ年です。法人にとっても皆様にとっても飛躍の年となるようご祈念申し上げます。

新年のご挨拶



理事・施設部長

中立 次夫

新年あけましておめでとうございます。旧年中は関係者の皆様方には何かとお世話になり衷心より御礼申し上げます。

昨年は二月にロシアがウクライナに侵攻するという想像もできない暴挙から始まって、四月の知床観光船沈没事故、安倍元総理の銃殺事件と大混乱の年だったと思います。今年の干支は癸卯年で、陰が極まってエネルギーをためて陽に変化する年とも言われています。私どもにとっては、東海市太田川に整備中の総合福祉施設「木田の里」がいよいよ四月に開設します。保育園から障害児の施設、障害者の就労継続支援、高齢者のデイサービスにサービスキ高年齢者住宅と、まさに新しい時代を象徴する全世代全対象型の福祉拠点となります。法人の持てる力を結集して、大きな花を咲かせたいと思います。今年もどうぞ皆様方の変わらないご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

年頭のごあいさつ



特集 木田の里のご紹介



2023春オープン予定

創立40周年を終え、福寿園ネクストステージの大きな挑戦として、東海市中心部に複合福祉施設「木田の里」を整備しています。子どもから高齢者までの全世代型の共生社会を目指した、新しい取組みを紹介します。

青い三角屋根で一番目立つのは、就労継続支援センターです。障がい者の働く場所として、1階は「本格製麺つる福」と「ランドリースービスふく

福」を、2階には「福寿の湯」をオープンします。ここでは、温かいお湯とおいしいうどんをお楽しみいただけます。ランドリースービスでは洗濯物をお預かりして洗濯してたたんでお返しします。3階には高齢者のデイサービスセンターを開設します。最新のリハビリ機器を導入し、健康寿命を延ばすケアをしていきます。

真ん中の丸くてかわいい赤い屋根は、子どもたちの施設です。1階は「保育所さだっこえん」で、0歳から2歳の子どもたちの保育園です。2階には、「放課後等デイサービスさだっこ」と「児童発達支援さだっこ」の2つのサービスがあります。それぞれのお子さんが健やかに成長していくお手伝いをします。

奥の緑屋根の白い建物は、「サービスタ付き高齢者向け住宅」です。高齢者に安心して生活できるお住まいを提供します。福寿の湯の入居者割引や本格製麺つる福からのお弁当の配達など、複合福祉施設をいかしたサービスもあ

ります。
現在、4月の開設に向けて建設工事も着実に進んでいます。近くをお通りの際は、ぜひご覧になってください。

木田の里 事業内容

福寿の湯

保育所
さだっこえん

本格製麺
つる福

放課後等デイサービス
さだっこ

ランドリースービス
ふく福

児童発達支援
さだっこ

木田の里デイサービスセンター

Kida no Sato

サービス付き高齢者向け住宅
木田の里



建設工事の様子



福寿園 調理員マイスター制度の導入



マイスター認定証

福寿園は今年創立43年になります。創立当時は、山田都企子園長（当時）が自ら厨房に立ち、厨房職員にお年寄りになじみの家庭料理（化学調味料を極力使わず、昆布や鰹節から丁寧に汁をとり、旬の食材をふんだんに使った甘辛の料理）を指導しました。

しかし、43年の間に施設はどんどん増え、大規模法人と言われるまでの規模になると味にも作り方にも少しずつ相違が出てきます。

ここ数年の間に調理の基礎研修、中級研修を体系づけ、各施設に食のスーパーバイザーを派遣して各施設で直接、伝統の味の継承につとめています。十数箇所働く厨房職員全員が、十

量の把握はできません。そこで福寿園流の食事に関するマイスター制度を導入することにした。

マイスターとはドイツ発祥の職能訓練制度のことで、その道の最高位はマイスターの称号が与えられ、称えられます。福寿園においても福寿園の味を後世に残すべく「福寿園・食のマイスター」制度を創設し、今年度から開始しました。8月に初段の試験を終え、2月に二段の試験を予定しています。

初段、四段、匠の五段位制で各段の受験要件はありますが、正職員もパート職員も誰でも雇用形態の区別なく受験することができます。

試験に落ちてしまった場合も

受験者に結果を丁寧にフィードバックすることで、自分の課題を自覚し、再挑戦に向けて気持ちを切り替え、日々、自己研鑽に励んでいる職員もいます。

この制度の導入により、正職員とパート職員の垣根をなくし、すべての職員の力量が「見える化」されることで、個々の職員の力が遺憾なく発揮されれば、作業の効率もよくなり、おいしい食事づくりにも繋がります。

日々、基本に忠実に丁寧な作業を繰り返すことが合格への近道です。

個人競技においてもチームワークが結果に大きく反映すると言います。施設内で学んだことを共有し、チームで試験に臨みます。



たっぷく児童クラブ

〈田原福祉グローバル専門学校内〉

紹介

誕生日会



クリスマス飾り



令和4年4月1日より、田原福祉グローバル専門学校に田原市で唯一の民間児童クラブとして、「たっぷく児童クラブ」が開設しました。対象校区は、田原市内の4小学校で、対象学年は1年生から6年生です。現在の利用人数は33名で、ほぼ全員が毎日利用している状況です。

民間として公営との差別化を図るため、以下の特長があります。

特長1: 広いホールで自由にのびのびと

特長2: 利用時間は8時から18時30分までが標準
希望者には早朝・夕方の延長利用あり

特長3: 学校までの送迎サービス

特長4: 食事は隣接「Café2910」の手作り昼食を提供

特長5: 人気の習い事教室
(ダンス・書き方・プログラミング・英会話)

特長6: 夏休み企画もりだくさん
(体験・お出かけ・交流など)

夏休み期間はなんと言っても最大のイベントですので、様々な行事を企画しました。外出では、のんほいパーク(豊橋総合動植物園)や就労継続支援センターあい福の里でのオクラ収穫体験を行いました。また交流の面では、田原福祉グローバル専門学校の介護福祉学科・日本語学科の学生、地元福江高校の生徒、養護盲老人ホーム福寿園の入所者とレクリエーションをしました。一日が長く大変な日々でしたが、子ども・職員にとって良い経験になったと感じます。

現在は、令和5年度の利用募集も始まり、新たな年度の準備をしているところです。2年目はさらに良いサービス提供を目指し、子どもたちや保護者の皆さまに喜んでいただけるよう、職員一丸となって、全力で子どもたちと向き合っていきます。

外出



夏休み活動表(7~8月)

日	月	火	水	木	金	土
	7/18海の日	19	20	21	22	23
			学校 終業式	虫取 水遊び	外遊び	
24	25	26	27	28	29	30
	多文化 交流会	手作り おやつ	映画 観賞会	すいか 割り	ドミノ 大会	
31	8/1	2	3	4	5	6
	流しそ うめん	自由工作	なんでも 見つけよ う会	たっぷく 生交流会	映画 観賞会	
7	8	9	10	11山の日	12	13
	農業体験	手作り おやつ	BBQ	蔵王山 登山	農業体験	
14	15	16	17	18	19	20
	水遊び 室内遊び	自由工作	お年寄り 交流会	自由工作	のんほい パーク	
21	22	23	24	25	26	27
	福江高 交流会	映画 観賞会	巨大絵 画作成	お年寄り 交流会	自由工作	
28	29	30	31	9/1	2	
	デザート バイキング	自由工作	夏祭り	学校 始業式		



連載 58

記録に残したい記憶 〜貴重な体験を語り継ぐ〜

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介します。



上田 妙子
(豊田福寿園)

プロフィール

趣	性	年	生年月日
味・習字、大正琴	格	齢	昭和3年2月1日
	頑張り屋。	94歳	
	おらかで穏やか。		

昭和3年2月1日、私は東加茂郡小原村で産声を上げ、木々に囲まれたのどかな村ですくすくと育ちました。20歳のころ学徒動員があり、豊川海軍工廠で戦争に使う鉄砲の弾を作っていました。戦争が激しくなってきたところ、心配した父親がオート三輪で迎えに来て、私を連れ戻してくれましたが、その後、豊川海軍工廠は戦火に巻き込まれ、多くの友人を亡くしました。私の心の中のとてもしみしい思い出です。慰霊祭には豊川まで毎年足を運びました。

嫁ぎ先は多くの田畑を持つ農家のため、頑張り屋で男勝りの私は、大きな機械を操作し畔を作り、畑を耕して、里芋や大根などの野菜を作りました。また、米作りの時期になると田植え稲刈りを行い、その合間、化粧品店の営業として働いていました。運転のできない私を夫が運転して支えてくれ、気が付けば50年、夫と共に化粧品店の営業の仕事が続けていました。そんな私の背中を見ていたのは4人の娘です。娘たちには私のエ

ピソードを聞くと、とにかく何でも手早くこなしていたと話します。お鍋を火にかけ野菜を畑に取りに行き、1秒でも時間を無駄にしないお母さんだったと言われました。

また、私が小学生の頃より習っていた習字を生かし、老人クラブで習字をボランティアで教えていました。習字は長年習っており、姿勢や集中力を養うことができました。習字は死ぬまで続けていきたい趣味となりました。

ています。定年後には婦人会の活動も行い、パワフルに暮らしていました。体が不自由になってからは、デイサービスを利用し始めましたが、それでも同じ利用者さんの習字の先生となり、教えていました。

そんな私の宝物は、4人の娘たち。そして、娘が言ってくれた言葉「生んでくれてありがとう」。いつも言ってくれる「ありがとう」という言葉です。自分の人生はいつも人のため働いた人生でした



若かりし頃(左)



「婦人会」素晴らしき仲間と(前列中央)



姉妹で(右)

が、本当に幸せです。今は数えきれないほどの孫やひ孫が生まれ、豊田福寿園に入所してからも、よく顔を見せに来てくれます。忘れないように娘が上田家の家系図を作ってくれて、家系図に子孫たちが増えていくことも今の楽しみとなっています。

各施設 TOPICS トピックス



武豊福寿園・ケアハウス武豊
備えあれば憂いなし

地震や火災などの災害や、人命救助のために、職員と地域協力隊を含めて消防職員を施設に招き、心肺蘇生法を学びました。また、ケアハウスでは入居者と一緒に手作りのかまどを利用し、飯ごう炊飯訓練を行いました。訓練を行うことで今後の課題も知ることができ、まさに備えあれば憂いなしです。



昭和の里・あい福の里 合同利用者親睦旅行

11月26日に就労継続支援センターで親睦旅行に行つて来ました。アクア・トト岐卓では大小様々な淡水魚を見て驚き、食事はビュッフェを堪能しておなか一杯になりました。明治村では、スタンブラリーと鬼滅の刃さながらのロケーションを楽しみました。帰りのバスのビンゴ大会も大盛り上がりで、2年ぶりの実施ということや、初めての参加者も多くいて、皆大満足でした。

豊田福寿園

三施設合同避難訓練

11月11日に福祉村三施設合同の避難訓練を行いました。今回は豊田福寿園が当番施設となり、厨房からの出火を想定した訓練を行いました。福祉村の他施設の職員、地域の区長さんをはじめ、地域住民にも参加していただき、利用者の方を誘導してもらいました。「慌てず職員の指示に沿って、避難してください！」全員が声を掛け合って、速やかに芝生広場に避難できました。その後は消火器と煙体験ハウスを使用した訓練を行いました。
有事の時は、地域の方や他施設の



皆さんに協力していただき、利用者の方を安全に避難していただけるように避難訓練は欠かせない行事の一つです。



11月11日介護の日に、豊田市立竜神中学校で介護についての授業を行いました。授業の内容として、認知症サポーター養成講座と介護の体験（歩行器、車椅子、福祉車両乗車体験）、「介護職員が高齢者と関わることで感じられた温かい気持ち」についてのスピーチを聞いてもらいました。「おじいちゃんおばあちゃんとお話するときは、視線を合わせるんだよね」と生徒同士声をかけながら車椅子を押し、楽しく学んでいました。今回の授業で「自分たちができることって何？」を考えてもらい、福祉の仕事を身近に感じてくれたと思います。これからも多世代に介護を伝えるきっかけを作り、想いをつないでいきたいと思えます。

渥美福寿園

居酒屋開催

11月下旬、居酒屋を開催しました。コロナ禍もあり久しぶりの居酒屋ということで、皆さんお酒やカラオケなどを楽しまれました。今回の目玉の一品として、職員手作りのピザをメニューに取り入れてみました。中庭にピザ窯を作り、手焼きで食べるピザは大変美味しく、大好評でした。種類も豊富で「どれにしようか」と迷われている方も多かったです。後日、デイサービスご利用者に

もおやつとして提供しました。これからも皆さんに喜ばれるメニューを考えていきたいです。



初★五平餅づくり

ちた福寿園デイサービス



今回は、センター長の地元岐阜県の郷土料理を「みんなで作るう！」と、初の五平餅づくりに挑戦です！

お金いっぱい炊き立てごはんを、利用者さんと一緒にすりこぎでつぶして「半殺し」にし、丸めたごはんに割り箸を刺して、マイ五平餅を作りました。

厨房職員に出張してもらい、クルミ入りの味噌だれもみんなで作りました。こだわりのマイ五平餅は、デイサービスの庭で炭火で焼き、自家製味噌だれをたっぷりつけて二度焼きすると、デイのフロアに香ばしい匂いが広がり、皆さん焼き上がりを待ちきれないほど…。

自分で作った焼きたてあつあつの五平餅をほおばり、お腹も心も大満足の笑顔でした。

グループホーム田原ゆの里

クリスマス飾り作り

グループホームでは、その時期の風物詩を取り入れた壁面飾りを毎月作っています。季節を感じる事ができて、皆さんに喜ばれています。寒さも増してきた12月上旬には、入居者の方にクリスマス飾りを一緒に作っていただきました。皆さん真剣な表情で、台紙に毛糸を丁寧に巻いています。毛糸を巻くのが難しい方も、職員と協力して仕上げ、廊下が一気に華やかになりました。「きれいにできたね！もうクリスマスだね、早いねえ」と会話が弾み、クリ

スマスの雰囲気を楽しんでいたただけではないでしょうか。



くすのきの里ショートステイ 「おやつ「スマン」を作ろう！」

フリーピン出身のEPA職員

フリーピン出身のEPA職員 マリンさんの発案で、11月18日にフリーピン発祥の「スマン」というお菓子作りを行いました。ココナツミルクで炊いたもち米をバナナの葉で包み、ココナツと砂糖を煮詰めたソースをかけたものです。作り方の見本を見ながら「どうすればいいの？」「あーこつすればいいのね」と楽しみながら取り組むことができました。食べ終わった後は、「甘くて美味しかったよ」と言ってくれました。

ご利用者の皆さんが来てよかったと思える企画や、非日常を感じられる行事を今後も行っていききたいと思えます。

一番楽しみなのは…

だんだんとWithコロナの生活にも慣れてきた今日この頃、今年も日帰り旅行を企画することができました。今年は安城市の堀内公園に行ってきました。今年は安城市の堀内公園に行ってきました。心配していた天候にも恵まれ、お散歩も楽しむことができました。堀内公園にはすべり台などの大型遊具もありますが、皆さんが特に楽しみにしていたのは乗り物遊具です。観覧車、メリーゴーランド、汽車と、皆さん童心に帰り、様々な乗り物を楽しみました。初めて体験する方もみえ、とても満喫できました。外食も買い物も久しぶりで、充実した一日となりました。



ボジョレー解禁

11月の第3木曜日に解禁となるボジョレーヌーボーワインにちなんで、みなみ福寿園では11月16日～18日の3日間でボジョレーパーティーを開催しました。パリストアエプロンを身につけたウエイトレースとパーテンダーに扮した職員がおもて



なし。ワインを嗜む姿も皆さん素敵で、グラスに注がれたノンアルコールワインを「美味しい」と何度もおかわりをしながら、パーティーを楽しめました。また、厨房シェフ達が趣向を凝らし、華やかでワインにぴったりの特製ピンチョスやキッシュ、フレンチサラダ等、彩り豊かなメニューで、普段あまり味わうことのないひと時を過ごしていただきました。

菜の花大学口腔ケア講習

ご利用者の皆さんと職員と一緒に勉強できる場として、『菜の花大学』を定期的に開催しています。今回は、花の里へいつも往診に来てくださっている歯科医院の歯科衛生士さんより、口腔ケアについての講習を行っていただきました。デイサービスの皆さんを



中心に、シヨートステイやグループホーム、特養からも多く参加者が集いました。

口腔ケアや舌みがきの大切さと方法、しっかりと飲み込みができるように口を動かすマッサージなど、分かりやすく説明いただきました。皆さんとても真剣に聞かれており、一緒にマッサージの練習をしたり、お互いに意見交換などされて、充実した時間を過ごせました。

カンパチ解体ショー

11月28日、男性調理員によるお魚解体ショーが行われました。お魚は全長50センチ程のカンパチです。目の前でライブ調理に、皆さんワクワク。包丁の角度や向きを変えてどんどん捌いていく様子はまさに職人技で、真剣な表情で見入っていました。その横で職員がユーモアを交えて実況し、会場は大盛り上がり。この日の昼食は、たった今刺身にされたばかりのカンパチを使った海鮮丼を提供し、カンパチの他にまぐろやサーモン、あなご、えび、いくらが盛られ、豪華な食事に皆さん大満足で、笑顔あふれる昼食時間となりました。また来年も楽しみにしているねという声がかれました。





田原福寿園
初収穫 芋ほり
11月22日に田原福寿園本館・南館・

「見て、こんなに大きいの掘れたよ」と、芋ほりを楽しんでいただけました。

養護盲合同で、芋ほりを行いました。旧本館の建っていた跡地に、新たな芋畑があり、各施設の利用者の皆さんと、賑やかに行うことができました。

ひまわり邸
caféひまわり

昨年引き続き、ひまわり邸内にあるカフェにてスイーツバイキングを実施しました。昨年は洋菓子を中心にバイキングを実施しましたが、今年は「和」をテーマにし、和菓子を中心に提供しました。入店して、まずはスイーツを2種類選ぶところから始まる、「何にしようかな。全部美



味しそう。」と期待感にあふれる利用者さんの笑顔が見られました。メニューの中でも一番の人気はみたらし団子。キッチン内では卓上コンロを使用してお団子を焼き、タレを塗ると、食欲をそそる香ばしい香りが漂っていました。実際に目で見て自分で選び、いつもと違った雰囲気味わうことで食欲も増し、お腹一杯になるまでスイーツを楽しまれています。

東海福寿園
介護の日体験企画



11月11日の介護の日に、今年度は認知症バーチャルリアリティや介護食などの体験型企画を実施し、ご家族や地域の方15名が参加されました。相手の立場に立つということは、

「こんなに美味しいなら、宿泊サービスを使わせたい」など嬉しい言葉をいただきました。今回は全部署職員にも学びの一環として、バーチャル・リアリティ体験をしてもらいました。

その人がいる世界を自分で感じてみないと、案外思いが一方通行になりがちです。体験を通して、ご家族からは「本人の行動が理解できず、疑問に思っていたが、こんな風に世界が見えていたんですね。本人の言っていることが理解できました」との声をいただきました。

また、介護食体験では「こんなに美味しいなら、宿泊サービスを使わせたい」など嬉しい言葉をいただきました。今回は全部署職員にも学びの一環として、バーチャル・リアリティ体験をしてもらいました。

ケアハウスパシフィック
スイーツは心の栄養です



冬本番を迎えた12月、いつもの食堂がスイーツパラダイスに変身し、バイキングを行いました。厨房職員特製の白玉ぜんざいやドーナツにスイートポテト、クッキーやスナック菓子など…。ずらりと並んだス

「美味いね」とこぼれる声も弾み「こんなに食べちゃった」と笑顔がほころんでいました。とろける甘さに、心もお腹もあたたかく満たされたひとときでした。

スイーツに同居者の皆さんは目を輝かせ、選ぶ楽しさに心躍らせていました。ケーキをのせたお皿に好きなものを好きなだけ盛り合わせ、自分だけの一皿が完成です。

令和4年度 職員旅行実施



福寿園では開設まもない昭和57年より、福利厚生の一環として毎年職員旅行に出かけ、職員同士親睦を深めてきました。コロナ禍のためこの2年見合わせておりましたが、今年度はコロナの状況を考慮し、すべて日帰りとして職員旅行を実施しました。行き先は日本平、奈良、伊勢志摩の3コースを9班に分かれ、10月か



ら11月にかけて旅行を楽しみました。初めて参加した職員からも「とても楽しめた」との声があり、忙しい日常から離れ、心身ともにリフレッシュできました!

Café2910「ドデスカ!」テレビ取材



たっぷくの学食Café2910がメ〜テレ「ドデスカ!」から取材を受けました。月曜～金曜で放送されている東海地方のモーニングを紹介するコーナー「きょうのモーニング」で、11月11日に放送されました。“学食カフェの選べるパンモーニング”というタイトルで「2910モーニング」が紹介されました。一般開放している学食という珍しさもあり、学校の校舎や学生がランチを食べているところも放映されました。

「2910モーニング」は、昭和の里から直送された日替わりパン3つを選んでいただけます。その他サラダ・卵・ハッシュドポテト・デザートと盛りだくさんの内容でとってもリーズナブルなモーニングです。その他モーニング各種もご用意しております。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

調理員中級研修

田原福祉グローバル専門学校において、調理員・栄養士対象に11月15日に中級研修を行い、11名が参加しました。受講者は各施設においてはリーダー、中堅どころと言われる人たちですが、中には法人の栄養士・調理員研修を受けたことがない人もいました。限られた時間でしたが、福寿園伝統の料理について実習し、福寿園の食の理念、献立、衛生管理についても学びました。非常に熱心に取り組み、調理実習は質問が多すぎて、昼食時間もままならないほどでした。午後はお決まりのCafé2910でのコーヒータイムの後に、研修で得たことの振りかえりを行い、個々の今後の目標を胸に刻みました。

中級研修は『福寿園マイスター』の2段研修の受験要



件に当たります。受講者全員が、2月の福寿園マイスター2段にトライしてくれることを願っています。

ISO維持審査



ISO9001と14001の維持審査が、12月19日から21日の3日間にわたって行われ、3人の審査員の方々が法人内各施設に出向いて審査をされました。サービスの質を担保する仕組みがきちんとできているか、アウトプットされたサービスが方針通りの品質になっているか、さらに環境法規制を特定してきちんと法規制が遵守されているか等を、しっかりと確認されました。法人ではこのISOと福祉QCを、人財育成とサービスの質を担保する上での重要なツールと考え、10数年にわたって継続してきました。今回の審査員の方々は、福寿園は初めての方ばかりでしたが、熱心に審査をされた結果、不適合の指摘はなく、無事に再認証をいただくことができました。毎年、外部の目で審査を受けることで、私たちの常識と世間の常識にズレがないかを確認できる良い機会となっています。

施設長補佐研修会

11月28日に本部ひまわりホールにおいて施設長補佐研修会を開催し、各施設から9名の施設長補佐が参加しました。

施設長補佐は、文字通り施設長を全面的に補佐する役職です。そのため、施設長と同様に施設運営の全般にきちんと目を向けなければならない施設の柱として大切な存在です。そのためのフォローアップ研修として行われ、理事長、常務理事、施設部長から予算目標や支出管理、サービスとリスク管理、職員のサポートに至るまで幅広い内容を学ぶ機会となりました。

法人全体の状況を学びながら自施設の状況を客観的に知る機会となり、施設長補佐として今後自らがなすべきことを見つめ直す良い機会となりました。

今後、法人や利用者サービスを支える中核的な存在として、その活躍がますます期待されます。



可愛い可愛いサンちゃん 皆に癒しをありがとう!

ひまわりの街では、シュナウザーとマルチーズのミックス犬(メス)を飼っていました。来た当初はまだ生まれて2か月で、いたずらばかりしてとてもやんちゃでした。食いしん坊で何でも口にして体調を崩しては病院へ通っていましたが、常に元気いっぱい事務所を駆け回っていました。職員が事務所に入るとしっぽを振って走ってくるサンが愛らしく、ご利用者様の中にもロビーでのサンとのデートを楽しみにしてくれていた方がいました。しかし、急に体調を崩し、12月10日に病気で亡くなりました。たくさんの方に囲まれ事務所でお看取りしました。私たちの癒しであった大切な可愛いサン、今までたくさんの思い出をありがとう。



ひまわりの街にサンの記念樹を植える予定です。来園した際には、手を合わせてくれるとサンも喜ぶと思います。

「福祉の絵手紙カレンダー」作製

福寿園では、今年も「福祉の絵手紙カレンダー」を作製しました。皆さんより、福祉の心のこもった素晴らしい作品を多数ご応募いただき、その中から選ばれた、第19回「福祉の絵手紙」受賞作品が掲載されています。

また、今年も「福祉の絵手紙」を募集いたします。皆さんからのたくさんのご応募をお待ちしています。(次回「福祉の絵手紙」作品募集の詳細につきましては、7月頃に機関紙またはホームページでご案内します。)



家族会だより

● 家族会会長
年頭のごあいさつ

ありがとうございます
おあをどう
いびいます



田原福寿園
家族会会長

河合 保寿

コロナ感染の終息が未だに見えない中、昨年は田原福寿園においても入居者の感染に伴い、職員の皆様には、昼夜を問わず懸命なお世話を頂き、心から感謝申し上げます。今後も感染予防の生活は続きますが、よろしくお願い致します。

施設内では四季折々の行事に加え、家族会主催として大々的にご家族を招くことはできませんでしたが、渥美観音太鼓や雅会による津軽三味線の演奏会など、入居者のみなさんの感動の笑顔を見ることができました。当たり前の生活がどれほどに幸せであったか。気兼ねなく施設での交流ができる日を楽しみに、皆様本年もよろしくお願ひ申し上げます。



田原ゆの里
家族会会長

鈴木 幾雄

昨年は、新型コロナウイルスの終息を願いましたが、未だその目は立ちません。又、ロシアのウクライナ侵攻はエネルギー・食料品不足による物価の高騰を招き、世界中に不安をもたらしました。社会の不安定要素が一日も早く解決されることを願います。

一方で施設は、感染力を増したコロナの影響を受け、職員の皆さんは気の休まらない日々が続いています。元に戻るにはまだ時間がかかりますが、何とかこの状況を乗り切って頂きたいと思えます。

最後に、職員の皆さんの日頃のご努力に感謝し、本年が職員の皆様・ご家族の皆様にとって素晴らしい一年になりますように祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。



渥美福寿園
家族会会長

青山 房生

新型コロナウイルスの影響で面会制限や活動の中止にご理解、ご協力いただきありがとうございます。昨年は、少しずつではありますが、環境美化活動や夏祭りや家族会の活動を行うことができました。また、新型コロナウイルスの感染もあつたなか、職員の皆さんが一丸となつ



花の里
家族会会長

永井 辰男

て介護に努めてくださったことは大変に感謝申し上げます。以前のように入居者の皆さんが普段通りの生活に戻れるよう、家族会として力を入れて盛り上げていきたいと思ひます。

新たな年が希望に満ちた飛躍の年でありますよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



みなみ福寿園
家族会会長

小野 英樹

昨年は、コロナ禍の中家族参加の年間行事がごとく中止となり、非常に残念でなりません。行事を通して入居者と家族が触れ合う大切さ、また、職員様と家族が親睦を深める大切さを痛感しているところでもあります。コロナ終息の先が見えない中で生活が、余儀なくされることと思ひますが、一日も早く以前のようにな平穏な日常が遅れるように願うばかりです。

最後になりますが、職務とは言え手厚い介護に従事されている職員様に感謝申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

昨年はコロナ禍のなか職員の皆様方のおかげをもちまして、環境美化活動ならびに花宵祭りをする事ができました。久々の清掃活動はいくくの雨天となつてしまいましたが、館内の窓ふき等をして館内がきれいになり、皆様のご協力、誠にありがとうございました。

また、花宵祭りは入居者一人に対してご家族2名までの参加となりましたが、コロナ禍に入つて以来の楽しい夏祭りを過ごすことができましたことを、職員の皆様にご感謝申し上げます。

本年も皆様方の良い年になりますようにお祈り申し上げます。



豊田福寿園
家族会会長

宇野 晃

皆様におかれては、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

コロナ禍も3年になり、変異株という新たな脅威の一方で、感染防止策やワクチン追加接種などの対策も進んでいます。施設でも、私どもの利用家族の安全安心を第一に考え、職員の皆様の大変なご苦労と努力によって命を守り続けて下さっています。家族を代表して感謝申し上げます。

昨年は「みなみファミリー」を3年ぶりに開催できました。職員の方々の手の込んだ仮装や歌謡ショーなどの催しに、利用者はじめ全員の笑顔がふれる1日になりました。今年も感染防止を図りながら、皆様の笑顔弾ける企画を考えて参ります。引き続きご協力賜りますよう、お願ひ申し上げます。



ひまわりの街
家族会会長
萩原 計美

入居者の皆様、家族会の皆様、職員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年はコロナ禍の中で職員を中心に、行事を縮小したり、形を変えたりしながら、入居者、家族会、職員の皆様と触れ合える機会を作って頂き有難う御座います。今年もコロナ禍の一年になると思います。職員の皆様には何かとご心労をお掛けすると思いますが、何卒宜しくお願い致します。

皆様にとって素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



ひまわり邸
家族会会長
永井 修

コロナ禍、職員の皆様には何時までとも分からない制限のある生活で大変お疲れの事と思います。本当に感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございます。

私事ですが、先日不得意なりモート面会を使う機会がありました。孫を入居の母に見せようとやってみましたが、ラインさえやっていけば意外と簡単だった事が分かり、遠方の姉妹にも勧めています。しかしながら、面会時間が短くなると、

覚えていたはずの職員さんのお名前もだんだん出てこなくなってしまう。ほぼ毎月の様に企画されている行事は、今年も入居者と職員さんのみで行われましたが、それでも続けて頂いている事で、単調になりやすい暮らしに刺激を与えて貰っていると大変感謝しています。

令和5年もコロナ以前の状況にまで戻るとは思えませんが、故に家族会として望まれる事に微力ながら貢献したいと思っています。引き続きよろしくお祈り致します。



武豊福寿園
家族会会長
石川 彰

ご入居者の皆様、家族会の皆様、職員の皆様におかれましては良き新年をお迎えて今年も良き年でありませう心よりお祈り申し上げます。

昨年の家族会の活動におかれまして、お忙しい中たくさんのご家族の参加をさせていただき誠にありがとうございます。7月に草取り、10月にバンド演奏・ファッションショーと私も久しぶりに皆さまと一緒に有意義で心地いい時間でした、ありがとうございます。

毎日が大変ですが、今年度も皆様と力を合わせて協力しあいながら家族会を盛り上げていきたいと思っております。引き続き福寿園さんの、益々のご発展をお祈りいたしまして念頭のご挨拶とさせていただきます。



くすのきの里
家族親睦会
世話人代表
衛藤 和夫

旧年中は職員の皆様方にコロナ禍の中で大変なご苦労とご心配に、心よりお礼申し上げます。昨年一年間、家族会の行事が全て中止になり、楽しみにされていたご家族様も寂しい想いをされたこととお察しいたします。新型コロナウイルスの感染状況も山あり谷ありで予想できませんが、今年こそ皆さんと一緒に行事を楽しみたい、また面会もコロナ禍の前のようにユニットの部屋で、日常の生活のなかでゆつくりスキップをとって、語り合うことができればよいなと思います。

最後に厳しい状況を皆様方の力で乗りきって行けることを信じ、一層のご多幸をお祈りして新年のご挨拶とさせていただきます。



東海福寿園
家族親睦会
世話人代表
井出 勝美

入居者の皆様、職員の皆様には今年も健康で良き年になりますように心よりお祈り申し上げます。

昨年は、家族参加の夏まつりの日程を変更して秋まつりとして開催、屋台や縁日、職員の仮装、抽選会と盛りだくさんで、施設長や職員の皆様にご協力いただき本当にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染拡大が止まらない中で、今年も職員の皆様は大変だと思っておりますが、入居者様をどうぞよろしくお祈りいたします。今年も皆様と力を合わせて家族親睦会を盛り上げていきたいと思っております。

皆様にとって素晴らしい一年でありませうよう祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



ちた福寿園
家族会会長
松本 直明

昨年は、国外では、ロシアによるウクライナ侵攻、中国での台湾・尖閣諸島問題、国内では元首相の暗殺事件などが発生し、とても不安な情勢の一年でした。

新型コロナウイルスにおいては、感染流行の波が次々と押し寄せ、日常生活においても多々活動を自粛せざるを得ない毎日です。

そのような中でも、ちた福寿園では、しっかりとした感染対策のもと、施設長はじめスタッフの皆様のご尽力で、入居者、家族へのイベントを実施していただき、楽しいひと時を過ごさせていただきました。日頃の入居者ファーストの体制にも大変感謝致しております。

今年も、世界情勢が落ち着き、兎のように、元氣いっぱいジャンプし、明るい希望がもてる年にしたいところです。最後に、皆様のご多幸とご健康を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.3

「新人介護士」 つりちゃん



連載

外国人介護士 紹介インタビュー

福寿園では、現在103名(フィリピン人 69名、ベトナム人 32名、インドネシア人 2名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎号一人ずつ紹介します。

- Q 日本に来ようと思ったのはなぜですか?
 A 日本の文化に興味があって、日本の生活を経験してみたかったからです。フィリピンに比べると日本経済が順調であること、サービス文化もとても良いこと、平和と秩序の維持も良いことから住みやすい国だと思います。
- Q 福寿園で働いてみてどうですか?
 A 福寿園で仕事をされていて、やはり良かったと思います。入居者の方から感謝の気持ちをしていただいたり、笑顔になってもらえたりすると、心が温かくなり本当に嬉しいです。
- Q 日本の生活で困ったことは何ですか?
 A 敬語やマナーの違いです。日本式のマナーに慣れるまで、かなり時間がかかりました。敬語や丁寧語は、今でも難しいです。
- Q 日本に来て、心に残る思い出は何ですか?
 A 日本の専門学校の卒業式です。日本語があまりうまくなかった当時、2年間アルバイトをしながら、介護について一生懸命勉強して、実習も苦労しました。晴れて卒業を迎えた時、心は幸福感で溢れ胸がいっぱいになりました。
- Q 好きな日本語は何ですか?
 A 「ありがとう」です。言った人も、言われた人も嬉しくなるからです。
- Q 休日は何を過ごしていますか?
 A 私は綺麗好きなので、家の掃除をよくやっています。掃除を終えてから、映画を観たり散歩をしたりしています。
- Q 最後に一言お願いします。
 A 成長しようと思えば、困難を回避してはいけません。



ララ・グリーン・テベス
ニックネーム
グリーン
ケアハウス
パシフィック
国籍：フィリピン



連載

施設長・管理者の リレーコラム

特別養護老人ホーム
みなみ福寿園

施設長 藤原 圭子

無趣味な私…。紹介できることなんてないなぁと思っておりましたが、ありました!一人焼肉・一人居酒屋の後の一人カラオケです。大声出してストレス発散。カラオケ最高です。コロナ感染拡大に伴い、ここ3年ほど、カラオケに行けず…。最近押入れの奥から引っ張り出してきたのが、80年代アイドルのLP盤とEP盤の数々。私のカラオケ好きの基礎になっております。「聖子・明菜・Kyon²・マッチにトシちゃん、チェッカーズ」昔を懐かしみ、レコードプレイヤーを使って、古き良き時代に浸る休日を過ごしております。早く、みんなでお酒を飲みながら、懐メロカラオケ大会が開催できるとよいなと思う今日この頃です。

次号は、武豊福寿園 浅野施設長へバトンを渡します。



令和5年1月10日発行

■発行／社会福祉法人 福寿園
 ■理事長／山田浩三

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。



vol.167 16